

事業系一般廃棄物減量等計画書(事業系一般廃棄物準多量排出事業者用)

年 月 日

(あて先) 川 崎 市 長

認 定 番 号				

事業場の所在地

事業場の名称

事業場の代表者名

川崎市廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例第19条第1項の規定により、令和7年度の減量等計画を次のとおり提出します。

事業者の区分		所有 ・ 占有 ・ 管理			
業 種 ・ 業 務 内 容		業種		業務内容	
事業系一般廃棄物 連絡担当者		氏名 所属 電話 ()			
資 源 化 の 状 況		資源化物名	回収業者名	住 所	電 話
		1			
		2			
		3			
減 量 ・ 再 生 利 用 等 の 取 組 み	実 績				
	計 画				
再 生 品 等 の 使 用	実 績	用紙類 (OA用紙 ・ 複写用紙 ・ トイレトペーパー ・) 事務用品 (ノート ・) 雑品類 (せっけん ・) エコマーク商品 ()			
	計 画				

令 和 7 年 度 実 績				単位 t/年
種 別	指定処理施設搬入量	資 源 化 量	搬 入 先	
新聞・雑誌				
段 ボ ー ル				
その他紙類				
ちゅうかい 厨 芥 類				
空 き 缶				
空 き 瓶				
そ の 他				
合 計	A	B	A+B	
令 和 8 年 度 計 画				単位 t/年
種 別	指定処理施設搬入量	資 源 化 量	搬 入 先	
新聞・雑誌				
段 ボ ー ル				
その他紙類				
ちゅうかい 厨 芥 類				
空 き 缶				
空 き 瓶				
そ の 他				
合 計	A	B	A+B	

注 指定処理施設搬入量、資源化量及び搬入先は、種別ごとに記入してください。

事業系一般廃棄物減量等計画書（準多量用） 記入例

① 令和8年 月 日

(あて先) 川 崎 市 長

認 定 番 号
0000

②

事業場の所在地 川崎市川崎区宮本町1番地
事業場の名称 (株)川崎環境電気 生環事業所
事業場の代表者名 川 崎 太 郎

事業者の区分	③ 所有 ・ 占有 ・ 管理
業 種 ・ 業 務 内 容	④ 業種 製造業 業務内容 家電の研究開発
事業系一般廃棄物連絡担当者	⑤ 氏名 幸 花子 所属 環境管理部 電話 044()
資源化の状況	⑥ 資源化物名 回収業者名 住 所 電 話 1 古紙 (株)〇〇商店 千葉県船橋市中央1 047-△77-□777 2 ダンボール △△商会 川崎市多摩区枋形2 044-□55-☆555 3 空き缶 (有)××工業 横浜市鶴見区亀56 045-☆33-△333
減量・再生利用等の取組み	⑦ 実績 ○新聞、段ボールは分別して100%資源化している。 ○厨芥類は場内のコンポスト装置で肥料化している。 計画 ○新聞、段ボール以外の古紙も資源化を開始する。
再生品等の使用	⑧ 実績 用紙類 (OA用紙 ・ 複写用紙 ・ ドレフトペーパー ・) 事務用品 (ノート ・) 雑品類 (せつけん ・) エコマーク商品 () 計画 ○備品については再生品やエコマーク商品を優先して購入する。

令和7年度実績				単位	t/年
種 別	指定処理施設搬入量	資源化量	搬 入 先		
新聞・雑誌	0	4	(株)〇〇商店		
段ボール	0	3	(株)〇〇商店		
その他紙類	11	4	(株)〇〇商店		
厨芥類	5	0			
空き缶	0	1	(有)××工業		
空き瓶	0	1	(有)××工業		
そ の 他	4	0			
合 計 A	20	B 13	A+B		33
令和8年度計画				単位	t/年
種 別	指定処理施設搬入量	資源化量	搬 入 先		
新聞・雑誌	0	4	(株)〇〇商店		
段ボール	0	3	(株)〇〇商店		
その他紙類	10	4	(株)〇〇商店		
厨芥類	4	1			
空き缶	0	1	(有)××工業		
空き瓶	0	1	(有)××工業		
そ の 他	3	0			
合 計 A	17	B 14	A+B		31

注 指定処理施設搬入量、資源化量及び搬入先は、種別ごとに記入してください。

【※記入上の注意】

①申請日:提出日を記入。

②認定番号:通知書等に記載されている認定番号を記入。

③事業者の区分:
該当する区分(所有(建物等を所有している)・占有(建物等を賃借等している)・管理((ビル管理業など)))に○をつける

④業種・業務内容:主な業種および業務内容を具体的に記入。

⑤事業系一般廃棄物連絡担当者:
事業系一般廃棄物に関する連絡担当者を役職問わず選任すること。

⑥資源化の状況:
資源化物の名称(新聞・雑誌、厨芥類 など)を記入。また、回収業者の名称、住所、電話番号を記入。

⑦減量・再生利用等の取組
・実績:ごみの減量化・資源化の取組について記入。
・計画:令和8年度に計画しているごみの減量化・資源化の取組を記入。

⑧再生品等の使用
・実績:事業場で使用している再生品やエコマーク商品があれば○をつけるか、空欄に記入。
・計画:新たに再生品等の使用の計画について記入。

⑨年度(実績・計画)
・数量はすべて年度(4月から翌年3月まで)単位で記入。
・単位はトン(t/年)とすること。

⑩廃棄物の種別(新聞・雑誌、段ボール、その他紙類、厨芥類等)
・種別ごとに、量および処理状況を記入する。
・【その他紙類】には、新聞・雑誌、段ボール以外のすべての紙類(オフィスペーパーやシュレッダー紙など。但し、汚れた紙類を除く)を記入。
・【厨芥類】には、食品残さなどの生ごみを記入。
※紙類と分別していない場合は、すべて厨芥類に記入。
・【空き缶】【空き瓶】は、産業廃棄物に該当するが参考として数値を記入。
・【その他】には、おむつ、剪定枝等、上欄に入らない一般廃棄物を記入。
※プラスチック等の産業廃棄物は記入不要。

⑪指定処理施設搬入量:
市の処理センター(焼却場)に搬入した量、及び焼却ごみとして許可業者に委託した量を記入。

⑫資源化量:
資源化施設(民間業者)に搬入した量、及び資源物として収集運搬業者に委託した量を記入。

⑬搬入先:
資源物として搬入した先の業者名(事業所名)を記入。
市の処理センターで焼却している場合は、記入の必要はない。